



校(地)区社協関係者を対象に、校(地)区社協活動研修会を開催しましたので、取組の概要をご紹介します。  
テーマ別に計4回開催し、会場参加者、オンライン(ZOOM)参加者あわせて、延べ222人の方にご参加いただきました！

## 研修テーマ

# お互いに支え合える地域共生社会を目指して

一般社団法人共生社会実現サポート機構とんとんとん 理事長 山内勇人氏より、佐伯市内で実践している地域共生社会の実現に向けた取組についてお話を伺いました。

## 地域共生社会って何？

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を越えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指します。



同じ場所と時間を共有することで分かることがあります

## とんとんとんの地域共生社会の実現に向けた取組

### とんとんとん広場

どなたでも立ち寄れる地域交流拠点を運営しています。週に2回開所し、認知症の方や障がいのある方が、積極的に運営に関わっています。

### とんとんとん食堂

とんとんとん広場で、どなたでも参加できる食堂を月2回程度開いています。そこでは、精神障がいや身体障がい、引きこもりの方などがスタッフとして活躍しています。

### 有償ボランティア

高齢者や引きこもりの方等のすぐに仕事を始めることが難しい方へ、パソコン作業や掃除、調理や配達など、様々なメニューを用意し、社会参加の支援を行っています。



ボランティア活動で自信がついた  
(有償ボランティアの活動をしている人の声)

生きづらさを理解してくれる  
(とんとんとん食堂で働いている人の声)



## とんとんとんの取組のポイント

支援する側・される側に分けるのではなく、当事者も含め「ごちゃまぜ」で行っています。生まれながらに生きづらさを抱えている人もいれば、生きていく中で生きづらさが出てくることもあります。生きづらさを抱える本人とその家族の生活を支えるためには、地域で共に暮らす人々が障がいを理解し、我がごととして考えることが大切です。

## 参加者の声

- 支援する側・される側という発想をやめて、住民が交流できる場を作ることから始めるのがよいのではと感じました。
- 地域の問題を共有し、高齢者や子供を地域で支えていくことが大切で、そのためには自治会、民生委員、社協、公民館が協力し、住民が繋がるのが大事だと思う。

## 研修テーマ

# こうざき校区から学ぶ小地域福祉ネットワーク活動

校(地)区社会福祉協議会は、概ね小学校区を範囲として住民で組織された任意団体です。市社協との連携のもと、市内の45校(地)区で地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動を展開しています。

## 小地域福祉ネットワーク活動って何？

校(地)区社協が実施主体となり、地域の支援を要するひとり暮らし高齢者等を対象に、小地域(概ね自治会)で住民相互の見守り活動や生活課題に対する話し合い、助け合いを行う活動です。



地域住民同士の  
支え合いの仕組みを  
つくる活動です

## こうざきの小地域福祉ネットワーク活動の取組

20数年前に校区内で孤独死が発生し、地域で見守りのネットワークを構築する必要を感じ、活動を始めました。65歳以上の一人暮らし高齢者及び80歳以上の高齢者世帯を対象に、見守り・声かけ活動や生活支援活動等を日常生活の中で実施しています。

### <話し合いの仕組み>

- 小地域ネットワーク会議(参加者:自治会長、民生委員・児童委員、福祉推進委員、ふれあい協力者等) 4か月に1回、自治会ごとに実施し、活動状況や問題点及び要望等を把握しています。
- 総括会議(参加者:自治会長、民生委員・児童委員、福祉推進委員、地域担当、包括支援センター職員等) 4か月に1回、校区社協が実施し、上記の小地域ネットワーク会議の内容を共有します。また、個々の困りごとを把握し、校区としてできることを考えます。

### <支え合いの活動>

- 生活支援活動「こうざきご加勢隊」(有償ボランティア) 生活上の困りごとを抱えた方を住民同士で助け合います。
- 交流拠点「みんなの家」の運営 いつでも気軽に集い、語り合う、楽しいひと時が過ごせる拠点です。
- 認知症カフェ「ハマユウ」の運営 みんなの家で月2回開催しています。懇談やカラオケ、歌声、各種講演の聴講、体操、昼食、紙芝居、工作などを行っています。
- 子ども食堂キッズカフェ「コチドリ」の運営 小学校を通して参加児童を募集し、みんなの家で月1回開催しています。皆で勉強をするだけでなく、ゲームや本読み、外遊び、折り紙、紙芝居、竹馬づくり、海岸(遊具)遊び、海水浴、カヌー体験、ケーキやお餅づくり、夕食を一緒にいただくなどしています。
- 移動支援活動の実施 「ハマユウ」の参加者より車を寄贈いただき、現在、「ハマユウ」と「コチドリ」の参加者の送迎に活用しています。
- シェアハウス「みんなの家2」の運営 住民から寄贈された平屋を活用し、単身生活者のシェアハウスを運営しています。



日頃から使用している  
こうざき校区公民館で  
ご発表いただきました

住み慣れた地域で  
安心して暮らすための  
仕組みづくりを  
行ってきました



## 参加者の声

- 必要と思われることを一つ一つ積み上げてこれたことがよく分かりました。ご苦労も多かったと思いますが、長く続けたことでこれだけの成果を生んだのだと思います。自分の校区でもできることから少しずつ取り組んでいきたいと思っています。

# 地域福祉活動の取組発表と情報交換

地域のつながりをつくるための場づくりと地域活動を継続するための工夫について、横瀬地区社会福祉協議会と松岡校区社会福祉協議会よりお話を伺い、参加者同士で意見交換を行いました。

## 地域とつながろうプロジェクト(横瀬地区社協)

令和4年度に、ふれあい対象者の生活上の困りごとを把握するアンケート調査を実施しました。調査結果と活動者同士の話し合いで出た意見を元に、横瀬地区社協の地域福祉活動計画を策定し、令和5年度には、計画に掲げた目標を推進するため「地域とつながろうプロジェクト(フリーマーケット)」を開催しました。PTA関係者をはじめ地域の方の協力により、当日は子どもたちやその親など若い世代の姿が多く見られました。ゲームやお買い物を楽しみながら校(地)区社協活動やサロン活動を知ってもらうことができ、多世代がつながるきっかけになりました。地域住民の交流の場としてだけでなく、校(地)区社協活動の協力者を発掘できる場になるよう、今後も継続して開催していきます！



のぼり旗で横瀬地区社協の名前をPRします

自分の作品を見てもらう機会にもなりました

関係団体の協力で沢山の子どもたちが来てくれました

取組紹介パネルで横瀬地区社協の活動をPRします



## 福祉・多世代交流の広場「カフェおよこい」(松岡校区社協)

平成30年度に松岡校区社協の地域福祉活動計画を策定しました。地域福祉活動を推進するために月に一度、校(地)区社協役員(会長、事務局長、地域福祉推進委員)、民生委員・児童委員、健康推進員、防災士等が参加する「企画委員会」を開催し、校(地)区社協がどのような活動に取り組むべきか検討しています。「カフェおよこい」は、「地域の暮らしを支え合おう」という計画に掲げた目標の具体的な取組として立ち上げました。お茶を飲みながらおしゃべりやゲームをしたり、認知症予防や歯科に関する講演を聞くなど、地域の方が楽しみながら開催しています。子どもから高齢者まで、誰でも気軽に立ち寄って息抜きのできる場として、今後も活動していきます！



毎月第4火曜日 9時30分～11時30分 松岡校区公民館で開催しています

福祉や介護に関する講演を聞いたり、軽い運動やゲームを楽しみます

お茶やお菓子を食べながら自由にお話します



# 精神障がいのある方との関わり方を考える

大分市保健予防課 上本裕貴氏、高瀬会美氏、大分市障害福祉課の原田耕一氏より、こころの病気の特徴と関わり方、障がい者虐待の現状等についてお話を伺いました。

## こころの病気の特徴

- 見た目に分かりづらく、やる気や努力の問題と誤解されやすい面があります。
- 周囲にSOSを出すことへの抵抗が強い人も多く、地域の中で孤立してしまうことがあります。
- こころの病気があるからと言って、全てが苦手なわけではありません。適切な治療やリハビリテーション、環境調整をすれば、安定した状態を保つことができます。

## 関わり方のポイント

- プライバシーに配慮する
- 自分のことを伝える
- ひとりの人として、相手の「人格」を尊重する
- コミュニケーションを大切にする
- 不快になる言葉は使わないようにする
- 柔軟で、誠実な対応を心掛ける



小さな気づき、声かけ、見守りが、孤立を防ぎます



## ご自身の生活や地域の活動に音楽を取り入れてみませんか？

### 地域の活動に呼んでみませんか♪



### 音楽指導員派遣事業

みなさんが集まる会などに、音楽指導員が伺います。音楽指導員の伴奏で懐かしい曲の歌唱や音楽に合わせた体操などを行います。参加者の人数や年齢構成に合わせたプログラムを用意しています。病院、福祉施設、自治会、ふれあいサロン、音楽サークルなど多くの団体からご依頼をいただいています。

- 料金 指導員1名派遣につき1時間5,500円
- 人数、年齢構成、時間設定、内容などお気軽にお問い合わせ下さい。

### 「歌声ひろば教室」「童謡・唱歌の会」

65歳以上の大分市民を対象に、音楽指導員の生伴奏にあわせて、懐かしい歌謡曲や童謡唱歌を歌う教室を開催しています。現在、5月からスタートする教室の参加者を募集中！歌って心も体もリフレッシュしませんか？

- 開催期間 令和6年5月～令和7年3月\*全20回(月2回)
- 参加費 おひとり9,800円(資料代含む)
- 会場、曜日・時間、募集人数などお気軽にお問い合わせ下さい。

### 参加してみませんか♪



### 体験会に参加してみませんか♪

大分市内12会場で、「歌声ひろば教室」「童謡・唱歌の会」を実際に体験できます。申し込みに迷っている方、内容を知りたい方などお気軽にお越しください。体験会だけの参加でも結構です。ご家族やお友だちも一緒にどうぞ！

- 参加費 500円
- 予約不要

体験会の日付・開催場所はこちら♪ ※()は開始時間

日付	歌声ひろば教室	童謡・唱歌の会
4/5	佐賀関公民館(10時)	
4/9	大分東部公民館(10時)・大分中央公民館(14時半)	大分中央公民館(13時)
4/12	植田市民行政センター(13時)・鶴崎公民館(13時)・野津原市民センター(10時)	
4/15	大在公民館(11時)・大分西部公民館(13時半)	
4/16	大分南部公民館(10時)・南大分公民館(11時)・大南公民館(13時)	
4/17	明治明野公民館(11時)	